



# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月22日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690600020
法人名	特定非営利活動法人 サンテター
事業所名	小規模多機能ホーム コミュニティの杜
所在地	鹿児島県阿久根市山下156番地1 (電話) 0996-79-3623
自己評価作成日	平成25年4月1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域住民が気兼ねなく立ち寄ることができる施設をめざし、下記の事を実施しました。

1. 利用者、御家族、職員、職員の御家族、地域住民との親睦会の開催
2. 演歌歌手の歌謡ショー
3. 薩摩の猿回しの公演
4. 蕎麦打ち
5. 小学生と餅つき
6. 山下地区文化祭へ参加(介護相談コーナー設置)
7. 地域住民参加の防災訓練(年2回)
8. 3.11災害を教訓に災害訓練(地域住民と炊き出し(豚汁、おにぎり、焼きそば)、仮設テント張)
9. コミュニティ杯グランドゴルフ(地域住民の高齢者と利用者)

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年4月16日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は阿久根市北部郊外の住宅地に建ち、周辺には農耕地や原野も見られ、小学校や公民館・郵便局・店舗などが点在し、散歩や買い物の際には地域住民と挨拶を交わしたり、会話を楽しんでいる。
- ・地域で認知症対策や介護支援の情報発信の場として活躍している。
- ・災害対策として、定期的に避難訓練を実施し、地域住民の協力を得ている。安全対策の整備もされている。また福祉避難所として市と協定を結んでいる。
- ・運営推進会議が充実しており、火災対応策の改善や井戸水の水質検査など、運営に反映させている。
- ・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員はケア対応等のさらなる向上を目指し研鑽を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎週月曜日朝礼で理念を唱和しています。	地域との関連性を重視した独自の理念を作成している。毎週月曜日朝礼で唱和し、勉強会等でさらに掘り下げて話し合い、地域での生活の継続・交流の重要性・信頼関係の構築など、ケアにつながるよう共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	防災訓練、災害訓練、地域の行儀に参加、グランドゴルフ大会を開催	自治会に加入し、地域行事の際にコーナーを設け認知症相談にも対処するなど地域の一員として積極的に参加している。保育園児や小学生との交流、ボランティアの受け入れ、地域住民の訪問など、日常的な交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	文化祭へ参加し説明、いきいきサロンへ行き講演した。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>改善点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 火災対応策を改善</li> <li>2. 井戸の水質検査</li> </ol>	<p>会議には、利用者家族や区長・民生委員・役場職員等の出席がある。活動状況や計画・問題点などを報告し、意見交換を行い火災対応策の改善や井戸水の水質検査を行う等、サービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議への参加2名</li> <li>・防火訓練（市の委託）等実施</li> <li>・救命講習会の依頼</li> </ul>	<p>認定更新の機会等に情報交換を行いアドバイスをもらっている。市委託の防火訓練を地域住民と実施したり、救急救命講習会の依頼などを行い、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在身体拘束をしていない。玄関の施錠、チャイムもなし。外に出られる際には職員が付き添っている。</li> </ul>	<p>身体拘束をしないためのマニュアルをもとに勉強会を開催し、心身ともに拘束をしないケアに取り組んでいる。昼間の玄関は施錠せずに職員間の連携で安全で自由な暮らしを支援している。事故防止のための身体拘束については、家族に説明し、同意書をもらっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を予定している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・3/6に社会福祉協議会より自立支援事業と成年後見人制度について研修を利用者と共に受けた。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	・相談受付時に不安や疑問等を聞き取り、納得いくまで説明している。相談受付シートやアセスメントシートを利用している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・アンケート実施。 調査訪問時に利用者や家族のニーズ確認をしたり、家族より直接TELや来所にて聞き取る。	利用者からは日頃から何でも話せる雰囲気作りに留意している。家族からは面会等で個別の意見や提案を聞く機会を設けたり、運営推進会議時にアンケートなどで意見を聴いている。出された事項は対応について話し合い、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議を月1回開催し、又毎日朝礼を実施し、意見をうかがっている。	管理者は個別の意見や提案を聞く機会を設けたり、日々の朝礼や職員会議等で意見や提案を聞き、就業環境の整備やサービスの質の確保に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>BSCを導入中で、個人への落とし込みはもうしばらく時間を様子。やりがいをもてるよう職員へ行儀の立案、計画を立たせている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>BSCを導入する予定</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>野田の小規模多機能ホームめだかと阿久根市の昴和苑へ職員を実習させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・相談受付時にアセスメントシートを利用しながら困っていることや不安な事等を聞き取っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・相談受付時にアセスメントシート以外に実際に困っている事を聞きとれる様にひもときながら実施している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・介護疲れが目立っている家族に対しては宿泊サービスや通所等を連日利用の計画をたてている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・自分でもできる事のある喜びを味わってもらえる様に、生活リハビリを実施している。家事や畑仕事（野菜作り）等。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者、御家族との信頼関係の構築し、自宅訪問時家族の様子を確認している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	墓参りをしたいと申し出があれば、職員が連れて行っている。催しを計画し事業所に来られるよう工夫している。	利用開始時に本人や家族から情報を得て、行きつけの理美容院や馴染みの人や日常の買い物など一人ひとりの継続的關係が途切れないよう働きかけ支援に努めている。事業所の催し物に地域住民が多数参加し交流を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを通じ慣れ親しむことができるようにしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院しても、入院先へ訪問している。他施設に入っても入ってから1月以内に訪問するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントで把握	アセスメントをもとに、日々の関わりの中で言葉や表情などから思いや意向の把握に努め、利用者の思いに沿うよう支援している。意思疎通が困難な場合は家族からの情報やアセスメントをもとに話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントで把握		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントで把握		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催している	本人・家族・主治医・理学療法士・保健師・介護職員の意見や提案から、介護計画を作成している。記録帳類も活用し、毎月モニタリングを実施し、見直しをしている。状況が変化した時は現状に即した介護プランを作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りシートを利用して本人、家族より要望及び伝達を確認し合っている。</li> </ul>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所より訪問を中心として支援。</li> </ul>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生きサロンへの参加。</li> <li>・民生委員、近所の方の見守り支援。</li> </ul>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期受診、臨時受診の送迎支援</li> <li>・独居の方の病院付き添い。</li> </ul>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。定期・臨時の受診は家族や職員が協力して行っている。適切な医療や看護が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・健康チェック時や入浴介助時又、オムツ交換時等に異常を発見したら随時報告を受け、主治医へ連絡している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院時には訪問し、連携室のSW等と相談している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・ターミナル期が近づくと家族と面談し、入院の必要があるかどうか相談している。</p>	<p>入所時に、重度化や終末期に伴う事業所が取り得る対応について、本人と家族に説明している。</p>	<p>終末期や重度化に伴う対応の指針を作成し、方針の共有が望まれる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・救命救急の訓練を阿久根消防署より定期的に受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・3/11に地域の方と一緒に防災訓練実施。阿久根市と協働して委託を受ける。 福祉避難所として市と協定を結ぶ	市の協力を得て避難訓練と自主訓練を実施している。今後、夜間想定避難訓練の充実を検討している。福祉避難場所として市と協定を結び、火災訓練も行っている。多数の職員が救命救急士の資格を取得し、テント張りや炊き出し訓練を行い、備蓄の準備もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・方言の中でも人生の先輩として名字で名前を呼び、尊敬した言葉使いに注意している。 ・プライバシーに関しては個人情報に関することは大勢の中では話さず、居室は各個室対応。	日々の関わりの中で利用者の人格を尊重し、プライバシーを保持する対応に留意し、排泄や入浴・言葉かけなどに配慮した対応をしている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書もとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・レクリエーション等も個人に聞き、本人達の望まれるレクリエーションにしたり何が食べたいか聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・生活リハビリやレクもご本人に合ったものを実施している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・衣服の乱れがあったら随時整え、髪も整髪する。 ・衣服は自分で選んでもらう。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・嗜好調査 ・行事食 ・本人に合った自助具の工夫 ・料理の下ごしらえやおやつ作り。	利用者の嗜好調査を行い、本人に配慮した献立を工夫している。行事食や季節食も楽しめるようにしている。魚市場から新鮮な魚が届けられたり、職員と一緒におやつを作ったり、食事の準備や後片付けなど行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・朝10時、昼15時、夜と水分摂取できる様にしている。お茶のおかわりは自由。 ・メニューは田舎料理を中心とし地場の魚や野菜を使っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後口腔ケアの実施。出来ない人のみ介助している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・おむつしている人も昼間はトイレ誘導をしている。 ・身体的に無理な方に対してはおむつ対応としているが、臨機応変に交換している。	排泄チェック表により、個々人のパターンを職員は把握して、おむつの利用者も昼間は自尊心に配慮しながらトイレでの排泄支援をしている。身体的や体力的なことを配慮しながら、おむつを減らす取り組みと、排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分摂取を促し運動を心がけ、野菜を多く取り入れた料理を提供している。 ・主治医の指示で緩下剤も服用しているが、自然排便を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・入浴は原則一人ずつの入浴でゆっくりと楽しめる様にしている。友人同士で入浴したいと希望があれば二人入浴としている。	一人ひとりの希望に合うように職員相互が調整して、利用者のタイミングに合わせて、個浴や2人浴と好みに応じて入浴を支援している。計画を立てて毎月、温泉入浴の支援も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	・眠たくなったら自分の部屋で ゆっくり休める様に支援してい る。午睡、就寝、起床自由とし ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている	・薬効についてすぐ確認でき る様にファイルに綴じてある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	・元気な頃の職業や特技、趣味 を確認し、本人が好きな事、楽 しみなことを実施している。 舞踊、生花、野菜作り、花作 り、料理の下ごしらえ、和裁 等。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	・買い物支援 ・ドライブ ・散歩 ・病院受診介助	一人ひとりの楽しみごとに合 わせて、散歩や買い物・墓参・ ドライブなど、戸外に出かけら れるよう支援している。年間計 画を立てて、地域のイベントや 花見等に出かけている。車椅子 利用者の外出対応も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・家族管理の方が多い</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけたいと申し出があれば行い、手紙はポストへ入れることを支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎朝全職員で環境整備している。汚染した場合は随時実施。換気、採光、湿度、室温調整している。</p> <p>・湿度、室温計で管理している。</p> <p>・空気清浄機、加湿器設置。</p>	<p>共用の空間は天井が高く広い。換気や採光・温度・湿度に配慮され、清潔で明るい。台所は広く利用者が使い易いように工夫されている。椅子は回転式で高さや動作に配慮されている。安全で居心地よく生活できる環境にある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・大空間、小空間の共用空間が四部屋あり各部屋で自由に過ごすことができる。園庭も自由に散歩できる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・家族写真や花等 ・本人の使い慣れた毛布や枕等使用</p>	<p>泊りの部屋は、ベットとダンスが設置してあり、本人や家族と相談しながら馴染みの物や好みの物が持ち込まれ、居心地よく安心して暮らせる配慮がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・居室やフロアからトイレの位置が近く、できるだけトイレにて排泄ができる様にしている。 ・日中はほとんどのご利用者がトイレで排泄されている。</p>		



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない	

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない